

報 告 書 抄 録

ふりがな	やなぎいせき4							
書名	柳遺跡IV							
シリーズ名	草津川改修事業ならびに草津川放水路建設事業に伴う発掘調査報告書							
シリーズ番号	XI							
編著者名	平井美典・中村智孝・中川正人・新山雅広・藤根 久・竹原弘展・川本耕三・山田卓司・鹿又喜隆・酒井公美子・池田利晴							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	〒520-0044 大津市京町四丁目1番1号 〒520-2122 大津市瀬田南大萱町1732-2							
発行年月日	西暦2008年3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
やなぎいせき 柳遺跡	くさつしあおじょう 草津市青地町	25206	020	35° 00' 48"	135° 58' 07"	20000424~ 20010323 20010403~ 20021105	18,150m ²	草津川改修事業 ならびに草津川 放水路建設事業
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
柳遺跡	集落	弥生時代後期~ 古墳時代初頭		河道・堰・分水溝・ 水溜状遺構・竪穴 住居・外周溝付き 住居・溝・土坑		弥生土器・木器 石器・銅鏃		絵画土器・記号 土器・透かし文 木製高杯・団扇 形木製品・朱精 製用木製鉢
	集落	飛鳥時代		掘立柱建物		須恵器		
	集落	平安時代末~ 鎌倉時代初頭		掘立柱建物 土坑墓		土師器・黒色土器		
	田畑	江戸時代		天地返し土坑		陶磁器		
要約	<p>弥生時代後期の集落は、後期後半に隆盛し、古墳時代前期前葉まで存続する。住居には通有の竪穴住居ないし平地住居のほかに、外周溝や排水溝をもつものがあり、居住者の階層差を示している。河川には堰や分水溝などの導水施設が設置されている。該期の出土遺物には多量の土器や木器がある。木器には透かし文様高杯や団扇形木製品などの威儀具が含まれ、特定の有力者層の存在が窺われる。</p> <p>鎌倉時代初頭の掘立柱建物は栗太郡条里地割に方位が合うもので、数棟でグループを構成し、坪毎に散在するあり方を呈す。</p>							